いわき民報

番一八三三電地番八四四町田市平
編輯兼印刷人　已克輝千
發行人　同
日刊　但月曜を除く
定價一月二十円一部七十錢
發行所
社報　いわき民報

メーデーの行事決る
平市方部の參加は約三萬の豫定

平地區勞組會議斗爭委員會は十八日全遞會議室に開き、メーデー主行事について協議の結果、メーデーは各方部毎に行い、具体的事行は方部地區勞委員會で協議決定、當日は平地區勞に對し各方部毎に代表者十名以上を送り、平地區勞としては各職場大會を開き終つて午前九時までに平工業學校校庭に集合勞働者大會を開き、正午から各職場のブラスバンドを先頭に市内の示威行進を行い、途中市役所、勞働基準監督署、地方事務所、税務署等に大會の決議文を手交するが、當日の參加は約三万の豫定とある

高萩君（常磐）見事に優勝
綜合で全國二位

會大國全

佐藤君は三位

全國炭礦勞組青年部對抗競技大會は去る十八日福岡市に開催されたが、常磐地方代表者二名は激烈なる戰の結果、常磐炭礦の高萩邦男君は（炭礦勞働組合の民主化について）と題して熱辯をふるい見事一等に入選し商工大臣賞を獲得、又赤井日曹炭礦の佐藤光行君は民主戰線統一についてとの題で第三位にいりかくて總合點數に於ては全國第二位を得て常磐地方炭礦青年の意氣を高らかしめた

郡町村勸業主任會議

主要作物實態調査

地方事務所では二十一日午前十時から本社樓上に各町村勵等主任會を開き、主要作物の經營實体調査、地力調査主要食糧供出割當方針、石油配給登錄についてなど今年は降雪が少なかつた關係で、山間部の風害による麥作の被害が甚大なところから調査する

平地區勞評議員會

平地區勞會議評議委員會は二十三日午前十時から全遞會議室に開き、地勞委の勞働者側委員選出二名を各産別から一名ずつもちよつた中から選定することゝなつた

小名濱信組

きよう役員會を

小名濱信用組合では二十一日午後一時役員會を開いたが更に二十五日午後一時第一小學校裁縫室に組合總代を開き二十二年度事業報告、二十三年三月三十一日最終處理決算承認、組合長及理事改選、增資經過報告、其他を附議するが組合長は小名濱村組合長の補缺期間なるか故に再選となるものとみられている

炭礦購買會
連合會

強力に發足さる

勝下全炭礦を以て組織する福島縣炭礦購買會連合會發足の打合せ會は十九日市勞働會館に、各山の購買會主催代表炭勞の一條氏、石炭協會の橋本氏等が集まり、連合會定かんを作成、炭礦生活物資の迅速適正な入荷配給を計り炭礦從業員の全般的福しを增進、生産の增強に寄與することゝなつた、事務所は東部石炭會館内に置き、縣内各炭礦購買會消費組合地域別炭礦組合を以つて組織、事業としては炭礦生活物資の荷受、配給關係官廳諸團体との連繫、會員の事業に關する指導研究及び調査等を行う

新理事長に野矢氏を
平林産燃料配給組合陣容更新

平林産燃料配給組合では十九日午後一時から本社ホールに臨時總會を開き、定款の一部變更の件を附議した後、一身上の都合から辭任した草野米彌理事長の後任選擧に伴う一部役員の改選を行つた結果、新理事長に專務理事野矢安孝氏が滿場一致で推薦され、花澤久一郎氏を常務理事に推した、新理事長野矢氏は總會後擧語る

配給面は極めて多忙であるが、市民各位の御後援により二十二年度は先づ滿配の域まで漕ぎつけた、本年度も十二分に計劃配給に留意努力、成るべく夏季中に冬季分の配給に備へて搬出、確保し市民諸君に御迷惑をかけぬよう組合一丸となつて努める覺悟である

青年部長會議

二十四日全遞で

平地區勞組會議では參加各勞組青年部の强力な發足を期するため、二十四日午前十時から全遞平支部で青年部長會議を開くが一般未加入組合の參加も望んでいる

おむつ配給

古品純綿おむつ（並巾二枚合せ長さ七十センチ）を一枚二十五円の割で乳兒六ヶ月以内と臨月の妊婦へ配給することになつたので希望者の受付は十五日から二十日迄に平第二小學校外邏足校では二十一日各屋年別に次の如く抽籤選定を行う

▲一年松ヶ岡▲一年神谷陽子▲二年澤村神社▲四年高久村千五六▲五年新舞子▲六年片寄廻りの夏井川堤防

配給所荒し遂に御用
鎌田町の鼻緒行商小野幸次（三一）

食糧配給所を襲つて市民の配給米を盗んだ犯人十九日平市署新妻、吉田兩刑事に自宅で捕われた、右は市内鎌田町鼻緒行商小野幸次（三一）で去る午前一時頃市内仲間町食糧公團第六配給所（責任者奈良鐵彌氏（三八））管理者不在中を狙つて板戸の錠を兩手で捻じ切り糯米六十キロ入れ三俵を全所にあつたリヤカーに積んで自宅に運搬したものでリヤカーは直ちに五色町屠殺場前に捨て大豚にも盗んだ米を市内をはじめ江名高萩及び勿來方面で賣つていたもの

いわき寸言

▲攻撃精神と狂犬とは紙一重のこと、他人のことは難しても自己は果してどうか

▲兵法に曰く進むは易く守るは難しと、自己の本分を守るは眞に難しこと

▲市政も縣政も國政も攻撃だけではまとまりません、皆さんお辭りかナ

優良四國鹽の市民一般配給
一貫匁九拾參圓也

平第二校
校外邏足　校では二十

給所　五丁目　平生活協同組合　電九七八
配給所　鎌田町　平生協鎌田町配給所
　　際匠町　平生協鐵北配給所　草野利男方
　　二町目　里見商店
　　杉平　佐々木商店

電柱廣告請負者
募集について

平市、石城郡、双葉郡の一部に亘る電柱廣告請負者を募集する

一、資格
可成看板製造業者、ペンキ塗工業者にして責任觀念旺盛なる方但し組合ある場合は代表者にても可

二、申込方法
希望者は豫め請負ふべき市町村名を申出ること此の際同一市町村に對し二名以上の申込ありたる場合は入札を以て定める

三、期日　申込は四月末日限りとす
詳細は最寄業務機關に問合せのこと
平市五丁目三〇（電八六〇）
東北配電株式會社　平營業所

募集

女子事務員　二名
女子販賣係　二名
年齢　十八才ヨリ二十一才マデ
學歷　高女卒程度（通勤可）
◇…明朗にして、珠算の出來る方
面會日二十五日（履歴書持參）
平市鍛治町一七
平製パン業務部

開店

△綴委託販賣店
薄利で皆様の御便利な店
何卒御來店お待ちしております
内郷町綴　健光堂

福島縣の古俳壇（三）

雫石太郎

本宮郡山俳壇

元祿時代の仝地の俳壇はさして活氣も呈していないが、化政期になつてから鹽田冥々の一家は相當のすぐれた足跡を印している

冥々翁は鹽田氏通稱は茂兵衛九淵齋と號した。寛保元年郡山の佐々木治右衛門の二男である。四歳の時母方の叔父、本宮の鹽田長十郎の養子となり、長じて釀種商として京坂地方を往復して居つた。翁は江戸の俳人春秋庵白雄の門に入つて精進名聲大いに上つた當時奥羽の四天王と云はれた盛岡の素郊松田の五明白石の乙二仙台の日人等と左肩してそん色なかつた。當時一流の俳人、成美道彦巣兆一茶大江丸等と交友があつた。六十二歳のときの著に冥々集がある文政七年八月廿一日八十四歳の高齢で歿、本宮町に葬られた。

實兄の佐々木露秀は郡山俳壇に重きをなした。冥々より四歳の長であつたが、よく意見の交換をなして腹臟なく語り合つたという。文化三年七十三歳で歿した。

二本松には根本與人が居つて礎まくらの紀行文の著がある

三春俳壇

三春は秋田候の御城下として發展してきた町であり、幕末には漢學者として中野金華、數學者として佐久間庸軒等が居つた所から推せば相當文化の流れも濃厚なものであつたと思はれる。

この地方の代表俳人としは恒丸と素月をあげ得られる。恒丸は下總佐原で歿し、晩年の生活が仝地に多かつたため佐原の人となつているが田村郡常葉の人である。今泉氏名は與右衛門又は一と稱した號は大寧舍子玄圃石巖山人である四十二歳の時、郷里を出て四方に歴遊した。江戸から甲州名古屋京都大阪に遊び九州の果まで行つた。その間一流俳人と交つた。寛政八九年ころ母を郷里に見舞つた。後、死別後、家を去つて江戸に上り數年間放浪の生活をつづけ、文化三年佐原の篠塚六兵衛の世話になり文化七年九月十四日歿した。この間江戸の俳人連中と交つた。

素月、名はもと常葉に近い廣瀬の某家に生れた。恒丸に嫁して以來夫婦で放浪の生活をつづけて居つたが當時一流の文人墨客の連中と交つて居つた。佐原に來てから五年にしかならないのであるが夫婦で記念碑の殘されたところをみると仝程土地の人に慕はれて居つたものであろうと思はれる。

恒丸の死後は京都の誠拙和尚について雉髪し素日尼と稱した。あとで函館に行き乙二の許で新水の勞をとつたと云はれるが、却つて彼の危介になつてその地に歿した。文政一年九月二日、六十一歳である遺骨は乙二の許から須賀川の石井雨考の許に屆けられ、佐原に送られて仝地の淨宿延壽寺に葬られた

罐詰配給の方法は

期日は二十五日以後の見込み

連合軍司令部の好意に依る罐詰の配給は一人當り半ポンドが四月一杯に配給されるが一般消費者は家庭用購入通帳第一號配給券（豫約券とする）をもつて十八日までに登錄小賣業者に申し込んだが小賣業者はこの第一號券配給券を一括、市町村から小賣業者用購入票の發給を受け登錄卸賣業者に二十一日まで又登錄卸賣業者は二十五日までに食料品配給公團罐詰福島出張所に豫約申込み、現品を受取るが、消費者は第二號券（引換券）を持參して自由に小賣業者から現品購入することになる

東南ク主催 軟式野球

二十四日開催

東南野球クラブ主催、二十八島國大黒屋後援の第四回軟式野球大會は二十四日、平商、平工、第三校の三場で開催す出場チーム組合せは左の通り

富士工業―食糧公團　平自治署―平土木監督所　新製ガラス―平消防團　磐城貨物―平勞基署　大永クラブ―財務署櫻畔クラブ―新川青年　大童―新童　市會議員1不戰勝

市議對消防

二十四日に對戰

市會議員と市常備消防職員の野球戰は二十四日午後三時から東南クラブ主催の軟式大會に參加して平工球場で行う

卓球軍敗る

全日本軟式卓球福島縣豫選會は十八日郡山市の安積女學校に開かれたが、市郡からは滋澤給二氏外二十七名の選手が出場、力戰した女子高專校の部では小名濱女子高の熊田孃（一七）が準決勝戰まで進んだのみで敗れた老練滋澤選手も年配のあふりか、三回戰に敗れた

消防第二分團 詰所落成

きよう擧行さる

市內白銀町にあつた市消防團第二分團詰所は戰時中、强制疎開したが、市消防團ではその後、五丁目駐在所の向筋に昨年十一月上旬來總工費二十万円（市資擔十三万七千円寄附）を投じて再建中この程竣工したので二十日午前十二時から同詰所で落成式を行つた

要援護者の不動産調査

市の民生委員定例會は二十七日午後一時から隣保館で開き續いて社會事業助成會の役員會も併せて行い二十三年度援護費、隣保館等の豫算編成を審議する、今度の民生委員定例會では要援護者として扶助料を受けている者の中には現金に窮しても家屋、土地、山野等の不動産を相當所持している者もいると見ている向もあるのでこの際生活困窮者の不動産調査はすべて各委員を通じ着手することを申合せる

平きのうの獲物 列車取締り

夜行列車相變らず

平地、自兩警察署で十九日、係員二十數名を繰出し、二三六、二三二、二三三、二四〇二〇二の五列車の一齊取締を實施したが近頃は一般に收獲が少くなつて來ているもの、夜の列車は相變らず多いといつたところ、取締の結果は左の通り

◆有主物◇うるち精米百七件四六六、二キロ◇モチ二件五キロ◇大豆四件七キロ◇小豆七件二九キロ◇馬鈴薯九件一四キロ◇麥類三件一六五キロ◇鮮魚一件六貫八百◇葉煙草三件一貫一百◆無主物◇うるち米十五件六二キロ◇大豆一件四キロ◇甘藷一件二貫

精神科 內科 電15
アラタメ 新田目醫院
平市搭槌小路

また草野に 土藏破り

タンス五竿分の衣類しでやらる

最近衣類を狙つての頻々たる土藏破りに地方民も恐れている折柄、又草野村に大がゝりな娘師が現れた一草野村大字下神谷字九ノ內酒造業豐田久義さん（四九）方では土藏裏側に梯子をかけ中間に直經一尺五寸位の穴をあけられタンス五竿分の女物衣類約百五十點、時價五十万円相當を盜まれているのを十九日に至つて發見した、平署で地理に明るい流しの共謀の仕業とにらんでいる

花咲く春の
おとづれを
マイクロカメラ
と共にたのしく
飯田カメラ店
平市一ノ一

優秀各種
ミシン
販賣・修理・部品
平二丁目シンガー
石川商會ミシン部

高久の娘師 捕わる

衣類二百點も盜む

市內南町を十八日夜十一時ごろうろつく不審の男を平地區署の松永部長刑事と稲狩刑事が捕へると、右は磐間町大字治の字新町無職鈴木照一（二〇）で去月二十七日夜高久村大字神谷作字古屋敷農鈴木辰中さん（五〇）方　土藏を破つて衣類九十一點、時價六萬円を盜み、更に本月十一日午前二時半頃仝村大字下高久字原農箱崎甚三郎さん（三一）方の土藏から衣類約百點、時價十萬円相當、盜んでこれらを市內五丁目某古物商店に賣り拂つていたもので、かねて手配中の男と判り余罪もある見込み

鐵道員御難

神谷村中神谷字大平鐵道員宇佐美次雄さん（二一）方では去る十日夜から朝方にかけ、男着物七枚、鐵道員冬服夏服それぞれ上下一着ずつと弟直松さん（一九）の靴一足を盜まれた

保釋中にまた盜み

小名濱町大字諏訪町字神樂場無職山野邊大吉（五〇）は十八日午後一時半頃湯本町字上町小澤啓祥さん方から中古自轉車一台を盜んで、湯本署へ檢擧された、仝人は一月來小名濱、湯本を股に自轉車泥專問に荒し去る十一日仝署に檢擧され目下保釋中の者

飲酒の上暴れ込む

茨城縣東茨城郡石塚町工業事務員武田清（二四）は去る十七日夜八時ころ飲酒の上、湯本町常磐炭礦八仙世話所に暴れこみ事務員瀧川長十さん（三一）に暴行を加へ顔面に全治五日間の傷害を當へたほかその足で自治會館前の派遣所の窓ガラス數枚を破つたゝめ湯本署へ

ハンマーの柄でなぐる

湯本町大字湯本字下湯目採炭夫門馬利治（三二）は去る十五日午前十時頃湯本坑第五坑內で作業中、同僚の採炭夫關根幹春さん（二三）と些細な事から口論ハンマーの柄で關根さんの顔面を毆打全治一週間の傷害を負わせて湯本署へ

中古衣類破格販賣
販賣品目
御婚禮江戸褄
モーニング
高級衣裳
その他
◇春柄若向豐富◇
お求の際は
是非一度
御相談下さい
中古衣類問屋
中央會館
平市田町（平館隣リ）電九一五番